

地域公共交通計画（別紙）（案）における生産性向上の取組
新松田駅～西丹沢ビジターセンター（富士急モビリティ株式会社）

1 これまでの改善等に向けた取組

当該系統は、地域住民の通勤、通学、通院や買い物等の生活交通として利用されており、必要な路線である。

これまでも利用促進に向け次の取組を実施している。

- ・広域バスマップの作成・配付(小田原市、大井町、松田町、山北町他)
- ・バスと町営施設との割引乗車券の販売(富士急モビリティ、山北町)

2 今後の取組

- ・バスロケーションシステムの導入による利便性の向上(富士急モビリティ)
- ・利用促進の実施(富士急モビリティ、小田原市、大井町、松田町、山北町他)
- ・地球環境や利用者にやさしいEVバス導入による利用促進(富士急モビリティ)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R7
運行回数(回/日)	8.0	7.9	7.9	7.1	6.9	6.9	7.0	6.9
路線キロ程(km)	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9
年間実車走行キロ(km) ※R7は年間計画実車走行キロ(km)	188,819.6	185,144.2	184,952.5	166,767.2	161,238.2	162,708.3	64,657.9	161,493.8
補助対象経常費用 A(千円) ※R7は見込額	56,628	58,922	59,983	57,124	58,639	55,311	61,493	57,981
経常収益 B(千円) ※R7は見込額	40,848	41,588	41,893	39,507	41,868	43,961	40,048	42,326
収支率 B÷A(%) ※R7は目標収支率 下記(2)参照	72.13	70.58	69.84	69.16	71.40	79.48	65.13	73.00
年間輸送人員 D(人) ※R7は目標年間輸送人員 下記(1)参照	86,505	76,469	68,115	42,025	47,377	52,361	64,293	67,000

(1) 目標年間輸送人員

- ①運行回数 1 回当たりの利用者を 1 人増やす

→1人×6.9回×365日=2,519人

- ②基準値

直近3年間(R3～R5)の年間輸送人員の平均値、またはR5の年間輸送人員と比較し高いものとする。

→54,677人(R3～R5平均) < 64,293人(R5年間輸送人員)

- ③R7目標年間輸送人員設定(①+②)

→2,519人+64,293人=66,812人

→百の単位を四捨五入、67,000人を目標値とする。

- ・設定理由

利用者、住民に分かりやすい目標とするため「運行回数 1 回当たりの利用者を増やす」という設定にした。

(2) 目標収支率

- ①年間事業収支率を 1 %改善する

- ②基準値

直近3年間(R3～R5)の収支率の平均値またはR5収支率のいずれか大きいほうとする。

→72.00%(R3～R5平均) > 65.13%(R5収支率)

- ③R7目標収支率設定(①+②)

→72.00%+1%=73.00%

- ・設定理由

収支率が改善していくことにより、将来的に補助金額の圧縮が期待できることから目標収支率を設定した。

(参考 補助金交付実績額の内訳 単位:千円)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
国	4,791.5	5,193.5	5,614.5	6,975.5	6,239.3	6,426.7	6,904.4	6,646.0
県	4,791	5,193	5,614	6,975	6,239	6,426	6,904	6,646
合計	9,582.5	10,386.5	11,228.5	13,950.5	12,478.3	12,852.7	13,808.4	13,292.0